

命を守る!



災害時の心がまえ～いざという時のために～

◆ 其の一 ◆

防災ガイドブックを確認すべし!

防災ガイドブックを読んで、避難所の場所や避難所への経路を休日などを利用し、昼間と夜間、それぞれ実際に歩いてみて確認しておきましょう。



◆ 其の貳 ◆

家具の転倒防止をすべし!

災害が起きた時をイメージして、家の中に危ないものや注意することはないか、日頃から確認しておきましょう。

- ・万が一倒れてきたら危ない向きの家具はないか
- ・避難路をふさいでしまうものがないか



◆ 其の参 ◆

備蓄・持ち出し品を準備すべし!

備蓄品、非常持出品の置き場所や中身を確認しておきましょう。食品や飲料の場合は賞味期限を、ラジオなどの機器の場合は故障がないかなど、定期的なチェックが必要です。



▶ 個別避難計画を作ってみませんか?

個別避難計画は、災害時に「ひとりで非難が困難な方」が迅速に避難できるよう、「避難場所・避難経路」「必要なサポート」「誰がサポートするか」などを事前に検討し、準備しておく取組です。詳細は防災安全課までご連絡ください。

▶ 木造住宅の耐震性は大丈夫?

阪神・淡路大震災では、家屋の倒壊による人的被害が甚大でした。昭和56年5月以前に建築された木造住宅については、町の補助制度があります。詳しくは12ページをご覧ください。



▶ ペットのために備えましょう!

災害が起きた時、ペットを守るのは飼い主だけです。災害時はペットと一緒に避難する「同行避難」が原則です。避難所生活に備え、少なくとも5日以上以上のペットフードやケージの準備が必要です。

普段から最低限のしつけやケージに慣らす訓練しておきましょう。詳しくは広報とよやま2月号9ページをご覧ください。

